

科目名	数量的処理C（数的推理） Quantative Processing C: Mathematical Reasoning						
科目担当者	齊藤 芳一 SAITO Yoshikazu						
単位数	2	配当年次	2年	授業形態	講義	開講学期	前期
履修学部・学科 [区分]	法学部・法律学科 [総合教育科目 総合講座] 経営学部・経営学科 [総合教育科目 総合講座]					ディプロマポリシーとの関連	(3)(4)
授業の概要	公務員として必要な事務処理能力を問われる「数的処理」の1分野である数的推理は、数学的知識や技能が最も必要とされます。出題分野は中学3年までの数学の内容で、企業の就職試験で多く採用されているSPI3等の基礎能力検査（非言語）と同様です。この講座では、数学が不得意な人やその内容を忘れてしまった人でも、数的処理の問題を短時間で解決できるように、公務員試験の良質な過去問の演習を通して、解法のパターンやテクニックについて学習します。						
授業の到達目標	①問題の解法のパターンやテクニックを理解し、使いこなすことができる。 ②問題を解決するために必要な数学的な思考力、判断力を身につける。 ③時間内で問題を解決する処理能力を身につける。						
授業計画・内容	1	オリエンテーション、数の計算、約数・倍数					
	2	約数・倍数、覆面算・方陣算					
	3	記数法・整数問題					
	4	数列、1次方程式・1次不等式					
	5	1次方程式・1次不等式、2次関数・2次方程式					
	6	1次方程式の整数解・剰余算、集合の要素の個数					
	7	濃度・割合・比、速さ					
	8	時計算・年齢算、小テスト1					
	9	仕事算・ニュートン算、場合の数					
	10	順列、組合せ、確率					
	11	確率、三角形の性質					
	12	三角形の性質、多角形、円と扇形					
	13	円と扇形、立体図形と最短距離					
	14	立体図形と最短距離、小テスト2					
	15	補足、まとめ					
授業外学修 (事前学修)	必ず予習をして授業に臨んでください。しっかり自分で考え、解ける問題と解けない問題を明確にしておきましょう。(毎週2時間程度)						
授業外学修 (事後学修)	演習が大切ですので、課題や小テストにしっかり取り組んでください。課題は自分の力で解いて、次の授業開始前までに送信（提出）してください。(毎週2時間程度)						
成績評価方法・ 評価比率・到達 目標との対応	成績評価方法					評価比率	到達目標との対応
	定期試験					60%	①、②、③
	課題の提出					30%	①、②、③
	小テスト					10%	①、②、③
成績評価基準	秀：（評点90点以上）到達目標を極めて高い水準で達成している場合 優：（評点80点～89点）到達目標を高い水準で達成している場合 良：（評点70点～79点）到達目標を一定の水準で達成している場合 可：（評点60点～69点）到達目標を最低限の水準で達成している場合 不可：（評点60点未満）到達目標に達していない場合						
教科書	資格試験研究会編『公務員試験 [高卒程度・社会人] 初級スーパー過去問ゼミ 数的推理』実務教育出版						
参考文献	なし						
その他	数量的処理A（基礎数学）と数量的処理B（判断推理）の履修後に履修することが望ましい。						